

文化・芸術



「ニコノス伊豆#2」

1977年、ゼラチン・シルバー・プリント
76.5cm×104.0cm
(作家蔵)

石内 都 (1947年)

《名画の扉》

企画展「石内都
STEP THROUGH TIME」から

本展において「ニコノス伊豆」と題された本シリーズ。石内都が初めて手がけたロールプリントでした。1977年10月11〜23日、神奈川県立県民ギャラリーで開催された「今日の写真・展77」で発表された約15点中、今回は9点を出品。じつに47年ぶり2度目の展示となります。「ニコノス」という水中カメラで、夏しばしば訪れた伊豆の海が、友人たちを被写体からめながら撮影されました。そこには、水とカメラと

「ニコノスの境界をなくした高揚感が漂います。当時の石内自身によるコメントが残されています。「夏という期間は写真を撮る暇がなく、じわりと暑くなると共に、身体中の細胞がひたすら海へ海へとさめき、夏に飛ぶ。しかし今年の夏は少し様子が変わった。出来る事ならカメラも一緒に泳ごうではないか。海水をかきわけ、波をのり切るたびに、身体にぶつかるカメラは何とも妙なものです」(小此木)